

生活をいろいろ 刺しゅう製品



sanei embroidery

サニ-シウウ株式会社 東京・大阪・上田

5月20日
(火曜日)
1969 季刊



社団法人 上田高等学校同窓会 関東支部会報

創刊号

発行所 上田高等学校同窓会関東支部事務局
発行責任者 稲垣征夫
編集責任者 坂井実雄
埼玉県川口市並木町2-11-6
矢島鋳工管内
電話 0482-53-2662(代表)

題字は稲垣支部長筆

関東支部会報二、に創刊

会員の宿願を達成

四千余名の会員を誇る関東支部としては、大なるも永年にならぬ会費多額の方々の掛金をここに実現出来、本会の益々充実発展を会員はもとより、教多き在野の他校同窓会支部等からも、注目と期待を集めることになりました。

発刊の辞

副支部長

(21) 島田次郎



わが上田高等学校同窓会関東支部会報の待望久しかった会報「うえだ」が、ここに発刊を見事に迎えたことは、まことに御同慶の至りと存じます。

回顧すれば、わが関東支部は、現在に至るまでに、既に、二十年を経過しております。

戦後、昭和二十三年春、母校愛に燃え、先覚者相集まり、開拓的熱意をもって専断で総会を開いたのが、関東支部発足の第一歩でありました。その後、総会こそ開かれませんが、同志相集まり懇親会を開き、同時に母校との連絡を図ってきた十年間は、いわば襁褓期ともいべき関東支部史の第一期でありました。

第二期は、関東地区在住の会員を対象とする第一回大会が九段会館において開催され、会則の制定、役員を選任が行われた昭和三十三年四月二十日に初まりました。昭和三十三年四月二十日に初まりました。現在に至る十年余に亘るいわば、組織化の時期であります。その間、年次大会の開催

- ◎ 第八回・関東支部大会開催日決る。(二面下段)
- ◎ 清水菊三(支部) 勝保稔(顧問) 両大先輩逝去。(七面)
- ◎ 新支部長(第三代)に十四回卒稲垣征夫氏。(二面)
- ◎ 支部会費の徴収を幹事会で採決。(五面)
- ◎ 会則一部改正案、第八回大会で協議。(五面)

大会

御案内

拝啓、深緑の候、本会同志皆皆、健康に御健勝に御活躍の御事とよろこび申し上げます。

さて、我が上田高等学校同窓会関東支部も、年毎にその充実を著し、特に本年は支部会報「うえだ」の季刊紙を発行するに至りました。ひとえにこれも各期代表幹事各位の御協力と、会員皆様方の御協力のおかげで感謝申し上げます。今正片清水支部長さんの御逝去あり、続いて三月、本会顧問長先生の御急逝と行儀も悲しみに、幹事一同の悲嘆も甚大なるものがありました。しかしこの両大先輩が遺された本会の栄光をゆるがすことなく、故両大先輩のたまにまかされついでに幹事一同本会の益々今後の発展を心してお誓い申し上げた次第であります。

今回恒例に従い別記御案内の如く、来る六月十三日(金)午後六時より、第八回関東支部大会を開催致すことになりました。

当日は、母校より小林学校長先生始め諸先生方、特に母校において長年教職におられた坂原実先生並びに中村六男先生を御招待の上御挨拶も賜り、さらに同窓会本部より御理事長外理事各位及び来賓各位も御招待の上、一段と本会の盛況を期待してまいります。

何卒、来るべき大会日は、万障御繰合せいただき、同窓会窓の皆様多数御誘い合せの上、ぜひに御出席下さいませよう、幹事一同と共にお待ち申し上げます。

社団法人 上田高等学校同窓会

第八回・関東支部大会

主催 関東支部

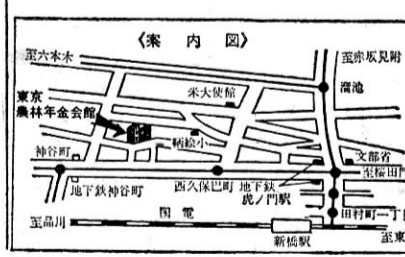


前回昨年五月の関東支部大会

附記

- (一) 今次大会の場は東京農林年金会館であり、二十六年卒の酒井一氏であり、幹事打合せや今次大会の準備について、種々御高配賜りましたことを清原方に伝え、厚く御礼申し上げます。
- (二) 大会当日、出席者に受付にて出身地、卒業期、氏名を書いた記名票をお渡しし、胸から胸ポケットにおつけ下さい。
- (三) この記名票は五種か六種類に色別して色に依り大体の卒業期が判明します。(例、一期より十五期までを紫色等)
- (四) 今次大会の席配は、趣向を凝らし、旧上田市内居住者上り汽車通学者、丸子線通学者、若者、昔の通学区別別によることを幹事会で採決しました。
- (五) この分類は、出席申込者の出身地に依り、なるべく多くの席に分ける予定のため返信用ハガキに必ず出身地を明記願います。同地区の先輩、後輩で懐旧談も楽しいことと。
- (六) 席の移動。同期生を集めたい方のために第二期に入つて適当な時に各期グループへの席移動を予定しています。司会者が会場内の様子によりお断りする予定です。三分程での大移動に御協力下さい。(幹事会)

- 一、日時 六月十三日(金)午後五時受付開始
- 一、会場 東京農林年金会館
港区芝西久保巴町三六の一
TEL(電)七二六一(大代表)
- 一、会費 一金、千五百円也
- 一、道順 ○地下鉄日比谷線「神谷町下車二分
○地下鉄有楽町線「虎ノ門下車七分
○国電「新橋駅下車、十三分



◎ 大会次第

- 第一部
- 一、開会の辞 司会 副幹事長(36) 神野 勝男
 - 二、挨拶 副支部長(21) 島田 次郎
 - 三、黙 折 支部長(14) 稲垣 征夫
 - 四、校歌合唱
 - 五、挨拶 萩原 実 先生
 - 六、挨拶 中村 六男 先生
 - 七、祝 辞 恩師(自昭和十五年三月) 小林 俊直 先生
 - 八、祝 辞 恩師(自昭和二十四年八月) 柳沢 文秋 先生
 - 九、来賓祝辞 同窓会本部理事 来賓代表
 - 十、協議事項 (会則一部改正の件)
 - 十一、会務報告及び事業計画 幹事長(31) 矢島 五郎
 - 十二、会計報告 会計幹事(40) 小林 郷 司
- (第十一、十二、十三項は、印刷物を配布し、簡潔にさせていただきます)
- 第二部
- 一、開宴の辞 副支部長(23) 神野 勝男
 - 二、先軋のことば 副支部長(36) 矢島 五郎
 - 三、先軋の祝 司会 大森 勝五郎
 - 四、余興 司会 矢島 五郎
 - 五、若き各期代表者の声 司会 矢島 五郎
 - 六、万歳三唱 司会 矢島 五郎
 - 七、閉会の辞 司会 矢島 五郎
- 副支部長(28) 坂井 実雄

祝 関東支部会報創刊

社団法人 上田高等学校同窓会

関東支部の年額会費決定と納入方法

(一) 年會費、金
 参田也の決定に
 ついて
 昭和三十八年四月二十六日に開催された、第三回関東支部大会に於いて、支部会々則原案を大会案内状と封しし全議員各位に送り、そして大会第一日その会則の各案を審議し満場一致で原案の御承認を得ました。その第五案に「この会の経費は、会費と寄附金による」とありまして、当時年額会費を決定してはどうかとの意見も出ましたが、特に事業計画もなく、年費の必要性はない、だが将来事業計画が立てられたとき、幹事会において決定しこれを定めるといふ事で見送り今日まで過して参りました。

(二) 納入方法について
 (一) 春季発行の会報を全議員に送るとき、本会々計の払込票を同封し、その年の年額会費をこの票によって納入していただくことを原則とする。
 (二) 支部大会当日、御出席の方は、その会場受付で大会々費と共に納入されてもよい。
 (三) または、各期には夫々同期生の会費が年一回か二回開

かれてくる期においては、その期の支部幹事もおられるのであるから、その幹事の方に納入方を依頼されてもよい。
 各期の代表である支部幹事は、自期の会費の年額会費納入については、努力を尽くすこととする。
 右の如く幹事会において定まりました。従いまして全議員各位の夫々が御自分でもっとも納めやすい方法をもつてお取組み下さい。

本会の会計係

◎本会の会計係は三名あり
 (40) 小林郷司氏が会計の代表者となつています。
 三 小林会計事務所内
 会計の取扱場所及び振替口座は下記の如く設定されています。
 振替口座「東京三三三九」

現代に想う

(51) 村田 寛
 サルトルは「日本は封建主義を捨て、今日にも日本に革命の風が吹きまわらなければならない」といふことを説いた。資本主義は「つた」と評したことがあるが、この国でも一夜にして過去から脱却して新しい時代に入るものではない。かつて革命の経験を持つたヨーロッパの国々、或いは中国を含めても、その土地の真実、血の色素は変える事が出来なかつた。
 私のオアシスは日比谷公園の一角、即ち日比谷公園の裏手にある。この音楽堂は御存知の通りありゆる種々の三毛隊、陳情団の集まる場所である。某歌が流れ、ある時は君が代が流れ、又「東方紅」や朝鮮の歌が流れて、ここで耳に入ると、演説を聞いている

よくまあ吊し上げないでください

光風会々員 桜庭 彦治
 上田といふのは太郎山、鳥帽子、染谷の丘、上中、岡のやたら好きな横柄、小林幹、両先生の事等次から次へ争かんで参ります。
 赴任時一年生だった三三の会の方々に例年毎に招かれたり御世話になったり、ろくな教師ではないと自認してしまふのに恐縮次第です。
 その中でもなほ失敗談は沢山、観望で毎年、陛下が御覧

会報発行に思う

(30) 小山晴之助
 われわれが卒業してから、はやく三十八年が経過したことになる。当時約二百名の同級生は創立六十周年記念一九六〇年(昭和35年)同級生会名簿によると、二六九名に達して、同級生会本部の一、九六七名の同級生名簿によると三三名の同級生がいわゆる京浜地区に住んでいることになっている。これが実に大変なことである。その職業も職種も多種多様で、同郷の先輩上田地方と京浜地区が

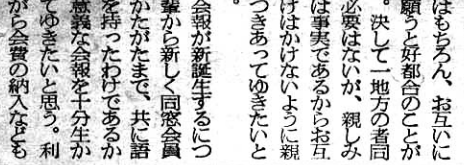
上田高校同窓会

昭和44年度通常総会開催
 日時 昭和四十四年五月二十一日(日)午後二時
 場所 上田高校同窓会館
 講演 「現代の大学問題」
 N.H.K.解説委員 家城啓一郎先生
 (午後一時より一般人にも公開)
 一、議事 43年度事業報告及決算承認の件
 2、44年度事業計画並びに予算承認の件
 3、同窓会奨学資金の決算承認の件
 総会終了後五時頃より会館ホールにおいて懇親会を開催し併せて数等瑞宝章を授賞され山崎親善氏(6回) 勲三等瑞宝章を授賞された依田誠氏(13回) 勲三等を受賞された長久保俊夫氏(13回)の祝賀会を行います。

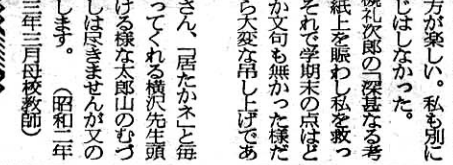
上田高等学校同窓会 改正案

法人 上田高等学校同窓会
第一章 総則
 第一条 この会は、上田高等学校同窓会関東支部とす。
 第二条 この会は、事務所を支部長宅に置く。必要に応じ、連絡場所を設けることができる。
 第三条 この会は、会員相互の親睦をはかり、あわせて母校の発展に寄与することを目的とする。
 第四条 この会は、前条の目的を達成するため必要な事業を行なう。
第二章 会員
 第五条 この会の会員は、長野県下田高等学校及びその前身の中学校、高等学校を卒業または在籍した者、関東地区に居住する者、その他この会に特に関係が深く、幹事会において推薦された者とする。
第三章 役員および顧問
 第六条 この会の役員は、幹事会が定めて、別に定める規程による会費を納入するものとする。
第四章 総会
 第七条 この会に次の役員を置く。
 幹事 若名、
 監事 若名
 選挙 選挙
 第八条 幹事若名は幹事会総会において、会員中の選挙しその任期を三年とする。ただし、補欠者の任期は前任者の任期による。
第五章 資産および会計
 第十九条 この会の資産は、会費、寄附金およびその他の雑収入による。
 第二十条 この会の会計年度は毎年四月一日始まり、翌年三月三十一日に終る。
 第二十一条 この会の会計年度は毎年四月一日始まり、翌年三月三十一日に終る。

伊豆風



上田高校同窓会



伊豆風

伊豆風
 伊豆風は、伊豆半島の雄大な自然と、その歴史を伝える。ここでは、伊豆の美しい風景と、その魅力を紹介します。

皆様のサロンです お気軽にご利用下さい
結婚式・宴会・宿泊
 地下酒寮 信濃路
 おはづけ、ひたし豆、蜂の子等で地酒を楽しんでいただく望郷の酒場です

企業発展と業績向上の原動力たる内部監査のわが国唯一の研究調査機関!!
日本内部監査協会
 会長 島田次郎 (21回)
 東京都中央区銀座3丁目11番地6号 銚子ビル
 電話 (542) 7 5 7 1 番 (代表)

田原接骨院
 東京保護司 田原英勝 (28回)
 田原税務会計事務所
 税理士 田原想介
 東京都荒川区荒川5-26-6
 電話 892-9144 郵便番116号

国際 **八峰閣** ホテル
 取締役 横関嘉伸 (39回)
 お問合せは ☎(982) 1181番 豊島区南池袋2-15-10

一つの中国をみて

(37) 小木曾 進

蒋介石総統八十歳のお祝いに岸特使が、文化代表有馬先生を伴って中華民国を訪れた私は...

五十五期の諸君へ

(55) 成沢 祐介

上田高校五十五期卒業生はまた血の気が多いに卒業後十二年も経ちました...

心の友を求めて

(37) 関 邦 雄

社会生活を営むうえで人の交りほど大切なものはない。特に社会構造が複雑化するにつれて...

サロン「上田」

(53) 須田 武久

「年の流れと何とやら」現代風に言えば「年の流れ」であって風には流されぬものがある...



産科外来雑感

(40) 丸 山 英 一

一、高年初産の増加。三十才以上の経産を占める割合が、分娩時上のお産を高年初産といいますが...

いろは偶感

伊 沢 幹 (3)

ふ、不合理な行動する世の中、の道理つけと行合案の道、心も人に親切なるな...

信州味噌山吹 信州味噌株式会社

石木税務会計事務所 石木 林 (旧姓上平) 40回卒

富国産業株式会社 取締役社長 中村栄一郎

零の通俗化

(12) 小林 幹雄

一、年令の呼び方 昔零歳児など云々と異様に感じられたが...

二十期の素顔

(20) 石井 保

廿と言え成人式、若さ二パイの諸君には年をかくす理には行かないが...

在京の二十回生たち

(30) 小泉 信好

大正の初めに生まれ昭和の初めに入学して年度と学年が同じ...

関東支部所感

(36) 深井 安児夫

世の中は、色々の面で矛盾だらけの今日、上野高校同窓会関東支部...

特別寄稿

昨年夏井本家の保健には少なからず気を遣った...

病父考

井本 公一 (40)



井本 公一 先生

学にいそしんだとある。当時私は私であるが、物心ついた頃...

他人の足を引張るな

(48) 小木 曾誠

他人の足を引張る狭量な性格は、山國の共通の国民性である...

牧内会計事務所

税理士 牧内 操 (47回) 川口市青木町1の204 電話 (0482) 51-3414代表

クラス会・ご商談・ご会合に ご利用のほどお待ち申し上げます

清水特殊鋼株式会社 東京都中央区西八丁堀2-14 電話 (551) 7386(代)・7417(代)

拓建興業

代表取締役 飯塚 茂男 (33回) 東京都台東区東上野3の37の9 電話 (832) 0553(代)

土屋工業株式会社

取締役社長 土屋 二三男 (33回) 東京都港区西久保広町2-9 電話 (432) 4724(代)・7・(431) 0285



毎週三十分、天下の美女とお話するだけのお金になる... 朝海浩一、永野重雄、山本登三郎の男性が坐つて...

天下の美女とともに

経済同友会事務局 次長・外交評論家 菲沢嘉雄(36)

特別寄稿

僕にとつて上田中学は... 僕にとつて上田中学は、戦後の異常な状態だった...

僕にとつて上田中学は...

放送作家協会 永六輔(50)



僕にとつて上田中学は、戦後の異常な状態だった... 僕にとつて上田中学は、戦後の異常な状態だった...

「上中会」の思い出

(13) 馬場友義

今回、上田高校同窓会関東支部に於て誌「うた」創刊号を発行する運びとなり...

上中三一會

「京と郷と」

(31) 矢島五郎

三十六回生情報

(36) 田中六郎

我々は昭和七年三月の卒業だが、今年で三十七年目になる...

愛校心

(20) 吉井道教

愛校心は愛校心は愛校心... 愛校心は愛校心は愛校心...

印刷一般・宣伝企画

株式会社日成社

代表取締役 成沢祐介(55回) 東京都豊島区北大塚3丁目32番12号

支部の我々は、大変幸であると思ふ。ふとした会合や或は会社の仕事...

祝・関東支部会報創刊 荒井信明会計事務所 税理士 荒井信明

祝 創刊 上田高等学校同窓会 関東支部会報 はたち会(第20回) 日南機械株式会社

東京農林年金会館 憩 幸 宴 話

